

西国巡礼慈悲の道

西国第七番 東光山

岡寺

厄年

山主 川俣海淳



「つつしむべき年にて、七番の観音様であると共にも過ぎにすぎさらぎの初午の日、龍蓋寺へまうで侍り「厄除観音」としても信仰を集めている観音様でございます。」鎌倉初期に成った歴史物語として有名な「水鏡」

の書出しです。ここにある「つつしむべき年」というのは「厄年」の事であり、厄年にあたる年の初午の日に龍蓋寺（岡寺）で厄除祈願をすると無事にその年を過ごせる、と古来より伝わっております。岡寺の本尊如意輪観音様は西国第

厄年の根拠には諸説あり、また地域、神社、寺院によっても変わってきます。しかしいわゆる「大厄」とされている時期は男性にとつて脂がのつて働き盛りでもある一方、社会的責任も重くなり、ストレスも溜まりやすく精神的・肉体的にも疲労が溜まりやすい年ですし、女性にとつても仕事、子育てや主婦として多忙になってくる時期であります。厄年とはこの時期は心身共に気をつけた方が良くという先人達の経験・知識でもあると思うのです。確かにこの世の中では不思議なことはありませんし、悪い事が続く事もあります。しかしそれらすべてが「厄」のせいというわけでは無いと思います。「厄年」の事を「つつしむべき年」と言う様に謙虚に感謝の念をもつて心穏やかに過ごすのが良いという事だと思います。現在の多様化した生活様式では毎日様々なストレスに囲まれての生活もありません。しかし、そんな時代だからこそ先人の経験・知識を生かし、観音様に手を合わせ穏やかな日々を送っていただければと思います。



西国第七番

東光山 ^{おか} 岡 ^{でら} 寺

真言宗豊山派

御本尊／如意輪観世音菩薩 開基／義淵僧正

けさみれば ^{つゆ} ^{おか} ^{でら} 露岡寺の ^{にわ} 庭の ^{こけ} け
 さながら ^る ^り 瑠璃の ^{ひかり} 光なりけり



✽ 主な年中行事 ✽

- 1月1日 初詣・開帳法要
 1月18日 初観音
 2月初午の日 初午厄除護摩供大般若法要
 3月初午の日 初午大祭厄除護摩供大般若法要
 4月中旬～5月初旬 シャクナゲ祭
 10月第3日曜日 開山忌野点茶会
 11月中旬～12月上旬 もみじ祭
 12月18日 納観音
 12月31日 除夜の鐘・閉帳法要

観音風光

履物は、脱ぎっぱなしにしないで、つま先を外に向け揃えて脱ぐ習慣を。

はきものをそろえる

はきものを そろえると 心もそろう

心が そろうと はきものも そろう

ぬぐどきに そろえて おくと

はくどきに 心が みだれない

だれかが みだして おいたら

だまって そろえて おいて あげよう

そうすれば きっと 世界中の

人の心も そろうでしょう。

ご詠歌の意味

今朝見れば岡寺の庭の苔に露が置いて、さながら瑠璃の光のようであった。

瑠璃とは七宝の一つとされる深い青色の宝石で庭の苔を瑠璃と捉える事により、西国浄土の世界を表現しているともいわれています。また庭の苔とは木々に絡んでいる苔の事であるともいわれています。

〒634-0111 奈良県高市郡明日香村村岡806

TEL 0744-54-2007 / FAX 0744-54-3731 <http://www4.kcn.ne.jp/~balance>

納経時間 3月～11月／午前8時～午後5時 12月～2月／午前8時～午後4時30分

西国三十三所礼所会ホームページ <http://www.saikoku33.gr.jp>

西国霊場にご参拝の時は納経帳や白衣を忘れずにご持参ください。2回目以降はご参拝の印として重ねて納経印をいただきますよう。